

東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.12
2011.4.11

◆ボランティアセンター開設

いよいよ大船渡地区ボランティアセンターが動き出しました。4月6日から鈴木本部長、いわて労連平井書記、全労連小松副議長、加藤益雄・文太郎さんが現地に入り、ボランティアの受入準備を始めました。センターを作るにあたって、6日夜には大船渡市職で大船渡現地打ち合わせ会議を持ちました。会議には地元から日本共産党田中市議、年金者組合佐藤さん、大船渡市職金野書記長が参加し、ボランティア活動と現地共同支援センターの立ち上げを話し合いました。

4月7日、ボランティアの受入準備で入ったところ、大船渡市役所三陸支所の及川支所長よりボランティアの要請を受けました。5月連休まで、津波で被災した三陸支所の書類整理にあたってほしいということです。

4月11日は三陸公民館の後片付け、12日は崎浜小学校での作業が予定されています。



災対連大船渡ボランティアセンター

◆全労連小田川事務局長現地入り

4月9日、全労連小田川事務局長が現地に入り、視察と激励を行いました。救援カンパ100万円の目録を頂きました。

◆五右衛門風呂現地配送

4月10日、五右衛門風呂を3台高田に送りました。陸前高田市小友地区では電気、水道などがなかなか回復せず、風呂にもなかなか入れない状況が続いているためとても喜ばれたそうです。現地には金野事務局長自らトラックをレンタルして配送しました。



組み立てた五右衛門風呂

この五右衛門風呂は広島藤井氏がスポンサーとなり、平和委員会の片山さんが仲介して岩手に送られたものです。

◆4t車で配送

紫波の倉庫が続々と送られる支援物資で満杯状態となり、ワゴン車の移送では間に合わなくなったため、トラックをチャーターして配送することにしました。4月7日にいわて労連、民医連で倉庫から積み込み。8日に高田、大船渡、釜石、宮古と配送しました。

大船渡のボランティアセンターでは陸前高田市に出かけ、この配送された物資を、さらに地域へと手分けして配送し、とても喜ばれたそうです。